

**第5次日野市基本構想・基本計画（2020プラン）  
中間検証報告書【概要版】**

**平成27年3月**

## はじめに

本市では、日野市における市民と市の協働によるまちづくりの指針として、第5次日野市基本構想・基本計画（2020プラン、以下同）を平成23年3月に策定しました。

2020プランは、将来のまちの大きな方向性を示す基本構想と、その実現のために市民や市が何をしていくかを示す基本計画で構成しています。このうち、基本計画については3年を目途に中間検証を行うこととしていることから、今回市民と市職員による市民協働チームを組織し、これまでの進捗状況を把握しました。

2020プラン策定後の3年間で、暮らしの安全・安心に対する意識の高まり、本格的な人口減少、超高齢社会の到来、財政状況の悪化等、本市を取り巻く社会状況に変化が見られます。また、市内に目を向けると、人口増加の一方で着実に進む高齢化や、市内の大規模工場の相次ぐ撤退等による地域経済への影響等が懸念されます。

このような中、本市では2020プランを補完する市政運営の主要な戦略を平成25年に掲げるなど、社会動向の変化に対応しながらまちづくりを進めています。

2020プランの着実な推進を図るにあたり、今回の中間検証により、日野市のまちづくりの様々な課題を把握し、今後の取り組みの検討に役立ててまいります。

## 1. 社会情勢の変化

### ○安全・安心に対する意識の高まりー「共助」の必要性ー

- ・東日本大震災以降、様々な分野で安全・安心を守る取り組みの重要性が高まっています。
- ・特に、近所や地域コミュニティで助け合う「共助」の仕組みづくりが重要な課題となっています。



### ○人口構成のアンバランス化ー騎馬戦型から肩車型へー

- ・本市の総人口は、現在緩やかな増加が続いていますが、平成 32 年頃には減少に転ずる見込みです。
- ・また、平成 22 年は高齢者 1 人を生産年齢人口 3.2 人で支える「騎馬戦型」の人口構成ですが、平成 52 年には高齢者 1 人を生産年齢人口 1.6 人で支える「肩車型」の人口構成となると予測されています。

### ○東京オリンピックの開催決定と、大規模工場の移転・撤退

- ・平成 32 年に、東京オリンピックの開催が決定しました。多摩地域においても、近代五種、サッカー、自転車競技の競技会場が設置される予定です。
- ・日野市では、東芝、メグミルク、日野自動車（予定）といった大規模工場の移転・撤退が相次いでおり、税収減や地域の雇用機会の減少が懸念されます。



### ○財政状況の深刻化ー国民 1 人当たりの借金残高は 817 万円にー

- ・平成 25 年に我が国の借金の残高は 1,000 兆円を突破しており、国民 1 人当たり約 817 万円の負担となっています。
- ・本市でも、高齢化に伴う社会保障費の増大が懸念され、限られた資源の中、健全な財政運営に努め、持続可能な経営を図ることが求められています。

## 2. 中間検証内容と手順

中間検証は、2020 プラン策定当初からの社会情勢の変化や庁内検証による進捗状況を把握したうえで、市民協働チームにおいて今後進めるべき方向性について議論し、見直すべきポイントや追加すべき要素などを提言にまとめるという手順で行いました。



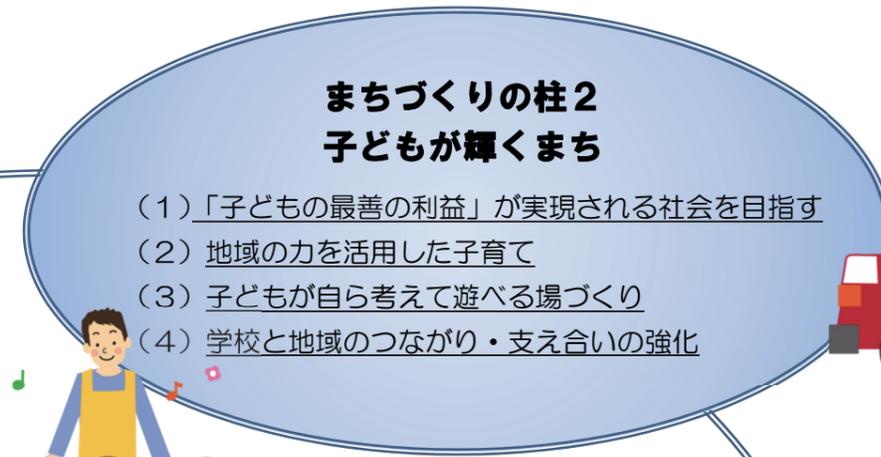
### 3. 中間検証で抽出した重要な課題とその対応の方向性

市民協働チームにおいて、2020 プランの「めざすまちの姿」を実現するにあたって重要と考えられる課題を抽出するとともに、その対応の方向性を検討しました。



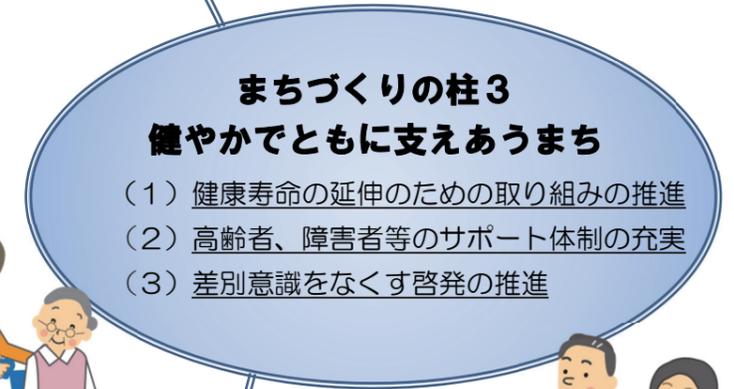
#### まちづくりの柱1 参画と協働のまち

- (1) 参画・協働に関する取り組み・成果の振り返りと推進方策の再整理
- (2) コミュニティづくりの支援の強化
- (3) 市の計画体系の再整理と横連携の強化及び説明責任の徹底



#### まちづくりの柱2 子どもが輝くまち

- (1) 「子どもの最善の利益」が実現される社会を目指す
- (2) 地域の力を活用した子育て
- (3) 子どもが自ら考えて遊べる場づくり
- (4) 学校と地域のつながり・支え合いの強化



#### まちづくりの柱3 健やかでともに支えあうまち

- (1) 健康寿命の延伸のための取り組みの推進
- (2) 高齢者、障害者等のサポート体制の充実
- (3) 差別意識をなくす啓発の推進



### 各まちづくりの柱の検証に共通する要素

厳しい財政状況

施策の連携

多様な主体の連携と更なる協働

#### まちづくりの柱7 地域の魅力を活かした活力あるまち

- (1) 次世代に引き継ぐ農住工商の並進
- (2) 日野のファン・ブランドの創出



#### まちづくりの柱6 安全で安心して暮らせるまち

- (1) コミュニティづくりの支援の強化
- (2) 大規模災害への対応



#### まちづくりの柱5 自然と調和した環境に優しいまち

- (1) 環境関連計画の位置づけの整理
- (2) 地球温暖化から生物多様性への展開
- (3) 「歩きたくなるまちづくり」の推進（『日野曼荼羅』の世界を目指して）
- (4) 市民一人当たり都市公園面積の見直しについて
- (5) ごみゼロに向けた取り組みの具体化
- (6) 用水・河川の水量・水質維持



#### まちづくりの柱4 日野人・日野文化を育てるまち

- (1) 生涯学習をきっかけとした人と人のつながりづくり
- (2) 人材の発掘・育成と活用
- (3) あらゆる生涯学習の場・スポーツ推進の場の活用
- (4) 地域の魅力や価値の再発見
- (5) 文化施設・スポーツ施設の利活用



## 4. 中間検証で示された方向性の展開

中間検証は柱ごとに議論し、これまで以上に力を入れて取り組むべきこと、新しく取り組むべきことを示しました。市は市民とともに、これらの結果を2020プランに加えて推進していきます。



## 参考. 2020 プラン策定以降の主な施策

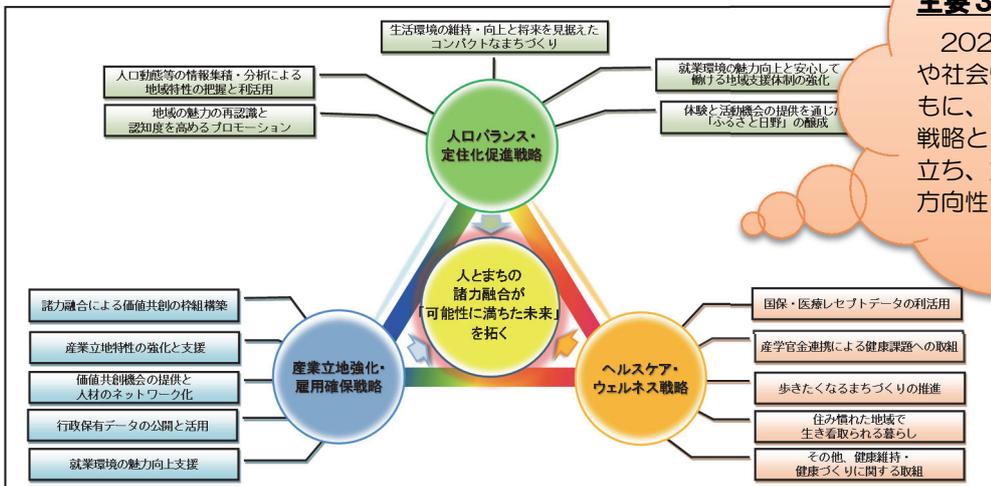
### Hino Vision 50 『日野曼荼羅』

50 年後に向けて日野市が進むべきまちの姿・将来像について、市民、行政、学識経験者を交えて検討し、イメージをとりまとめました。

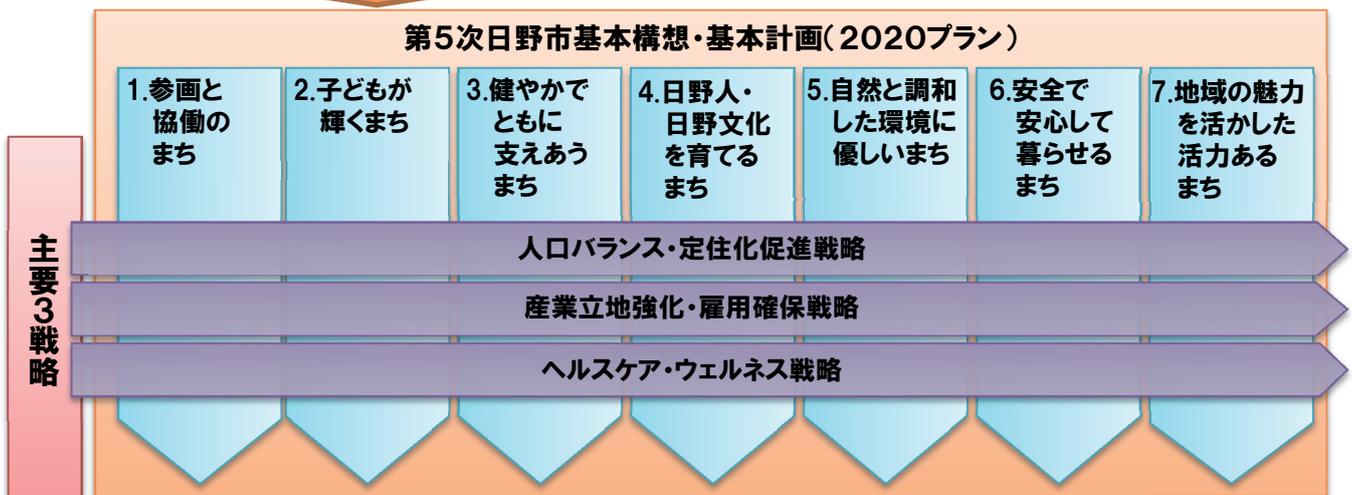


### 主要3戦略

2020 プラン策定後の法改正や社会情勢の変化に対応するとともに、中長期的な視点を補完する戦略として、分野横断的な視点に立ち、重点化して取り組んでいく方向性を示しています。



### 第5次日野市基本構想・基本計画(2020プラン)



2020 プランは、行政分野別の目標と取り組み方針を示す最上位計画であり、縦軸で政策体系を定めています。主要3戦略は2020プランの縦軸に対して横軸の視点で策定されており、2020プランの縦軸と、主要3戦略の横軸が重なる施策を重点的に取り組んでいきます。



ともに創ろう 心つながる 夢のまち 日野  
～水とみどりを受けてごう～

第5次日野市基本構想・基本計画（2020プラン）中間検証報告書【概要版】

平成27年（2015年）3月

発行 日野市企画部企画調整課

〒191-8686 東京都日野市神明一丁目12番の1